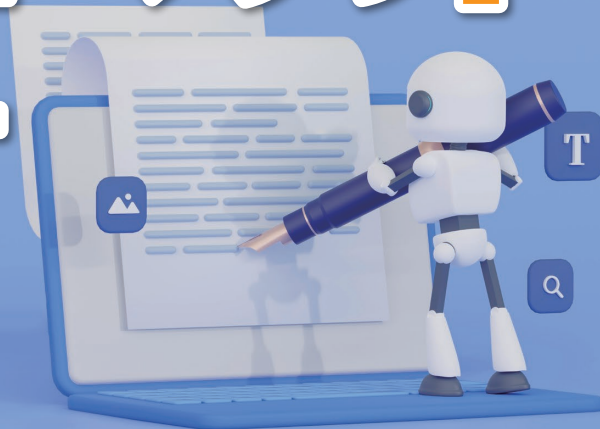


調達担当者のための 「AI活用ロードマップ」 作成セミナー



アウトプットとして自社の生成AI活用計画をお持ち帰りいただけます

「検討中」の停滞を打破し、実運用へ導く

多くの企業が調達業務へのAI導入を模索していますが、実務で使い切れていないのが現状です。

- **「何に使えるか」が具体的にイメージできない**
「日々の見積もり査定業務のどこで、どう使うのか?」という具体的なレベルまで落とし込まず、漠然とした情報収集で終わっている
- **ベンダー任せのPoC (概念実証)**
「まずはPoCから」とITベンダーに丸投げした結果、現場の実情を無視したツールが出来上がってしまい、現場ではあまり活用されていない
- **上司を説得するロジックが作れない**
「どれくらい工数が削減でき、いくらのコストメリットが出るのか」というROI (投資対効果) を算出するのが難しく、稟議書が書けないため、プロジェクトが前進しない

といった悩みはありませんか?

本セミナーでは、講義の後、グループワークで実際に手を動かしていただきます。自社の業務フローにおけるAI活用余地を考え、具体的なスケジュール (ロードマップ) を成果物としてお持ち帰りいただけます。

- 対象**
- 調達業務のAI活用を進めたい方
 - AI導入の具体的な活用イメージが湧かない調達部門の方

- 参加料 (税込)**
- 法人会員 : 35,200円/1名
 会員外 : 41,800円/1名
- ※テキスト (資料) 費が含まれております。
 ※法人会員ご入会の有無につきましては下記URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
 ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

【参加特典】 調達プロンプトテンプレート集

日時 2026年 6月 9日(火)
 2026年 8月 25日(火)
 各回とも 13:00~16:00

※プログラムの特性上、オンライン開催はございません

会場 日本能率協会 関西事務所 研修室 (大阪市北区梅田)

講師 坂口 孝則 氏
 未来調達研究所(株) 取締役

■ プログラム <13:00~16:00>

1 講義 : 調達AI活用の「実演」と「解剖」

抽象的なAI論ではなく「見積書PDFを一瞬で読み込み比較表にする」「契約書の危険条項を3秒でチェックする」「市況ニュースから自社サプライヤーのリスクを抽出する」など。ChatGPTやGeminiなどの生成AIを使った実例をお見せし「ここまで出来るのか」という到達点を全員で共有します。

2 討議 : 業務プロセスの「仕分け」

実際のルーティン業務のうちAIに任せる内容をリストアップし、グループワークとして「AIに任せる業務」とそれでも「人間がやるべき業務」をその場で仕分けします。もちろん講師も適宜、アドバイスをいたします。その場でChatGPTやGeminiに実際のデータを(個人情報情報を伏せて)入力し、テストすることも可能です。曖昧な「検討」を「決定」に変えます。

3 計画 : 実行ロードマップの確定

いつまでに何をするか、具体的なスケジュール(ロードマップ)を完成させ、成果物として持ち帰っていただきます。

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

